

	<h1>野火止小だより</h1> <p>学校地域教育目標 考え学ぶ子 仲よくする子 たくましい子 地域を愛する子</p> <p>野火止小は保護者や地域と共にあるコミュニティ・スクールです</p>	<b>めざす学校像</b> -全ての児童が確実に伸びる学校-	<b>12月の生活目標</b> 安全に登下校しよう
		12月号 令和6年11月29日 新座市立野火止小学校 児童数 561名・学級数 21学級 住所 新座市野火止 4-9-1 TEL 048-477-1211	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ルールを守る</li> <li>・通学班のきまり</li> <li>・下校時の行動に注意</li> </ul>

## 師走 1年間の学習の伸びを確認しながら

校長 丹代 円

毎年、4年生から6年生までを対象に行われている埼玉県学力・学習状況調査について報告いたします。始めに本校の正答率です。

	国語		算数	
	本校	県	本校	県
4年	50.4	51.9	61.3	62.6
5年	60.3	56.9	51.8	53.4
6年	58.6	56.7	51.2	50.9

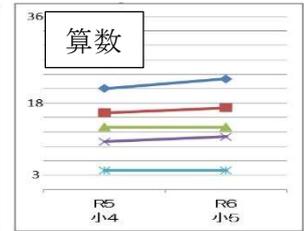
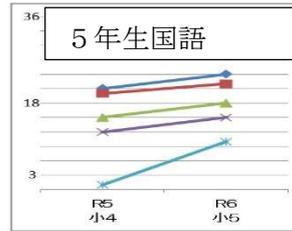
4年生は前年度からの伸びを見ることができないため、教科ごとに傾向をつかんでいきます。国語を領域別に分析してみると、言葉の特徴や使い方、読むこと、話すこと、聞くこと、書くことについては正答率が変わりませんでした。「情報の扱い方・我が国の言語文化」という領域で差がついていました。具体的には、○漢字の部首 ○辞書の正しい使い方（動詞を辞書で調べられるように言い切りの形で書く、国語辞典に出てくる順番に並び替える） ○会話の内容に合った情報を選択する 以上の内容です。国語辞典など、学習したときには理解していても忘れてしまうことが多い内容については、普段から活用する習慣を身につけるとともに、一度身につけた知識を繰り返し復習することも必要です。

算数も一つの領域で差がついていました。それは「図形」です。具体的には、○三角定規の角の大きさ ○球の性質を利用して、球の入った箱の横の正しい長さを選ぶ（球の半径と箱の横の長さの関係） 以上の内容です。図形について学ぶときに出てくるコンパスなどの器具の扱いも含め、知識だけでなくそれらの器具を使って測ったり書いたりする技能を習熟させていくとともに、身につけた知識・技能を使って問題を解決するための思考力・判断力・表現力を身につけることができる学習を進めます。

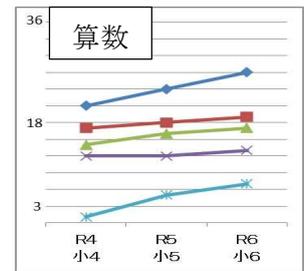
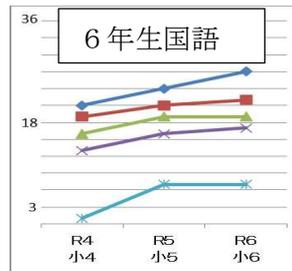
5年生からは、前年度からの伸びを見ていきます。

5つの折れ線グラフのうち、1番上が最上位の児童が属するレベル。上から2番目が上位から25%の児童が属するレベル。上から3番目が中央に位置する児童が属するレベル。4番目

が上位から75%の児童が属するレベル。一番下が最下位の児童が属するレベル。となっています。



5年生の国語では、特に5本目のグラフが大きく向上していることから、着実にどの児童も学力を伸ばしていることが分かります。一方で算数では、中央以降のグラフが横ばいになっていて伸びがみられないということが分かります。「数と計算」「変化と関係」という領域で差がついていることから、○小数、()を使った計算 ○およその数、四捨五入 ○割合 ○伴って変わる2つの数量の関係を記号を用いて式にあらわすこと については新たな単元の中でも重点化し指導してまいります。



6年生は2年間の伸びとなっています。どちらの教科も高いレベルにあります。国語の2つの階層で5年生から6年生までが横ばいとなり、伸びがみられていないことが分かります。これらの階層については、個別の学習状況を丁寧に把握し、学年全体の非認知能力の向上と合わせながら個別に支援してまいります。

毎日の児童の状況に寄り添い児童の非認知能力を向上させる学級経営を行うとともに、各種データを活用しながら学力向上につながる授業づくりをすすめます。これからも全ての児童が確実に伸びる学校づくりのために、授業改善に努めてまいります。